

意見書の写しに記載された意見の概要	左記意見に対する見解
<p>・希少動植物が生息し、京都府下でも珍しい希少環境をもつ豊かな自然を破壊することや、環境の持つ豊かな自然を破壊することや、人々の癒しのスポットである里山を奪い去ることは、ファーストソーラー社の企業理念に反しないのか。</p> <p>公告縦覧には、生物のことについての調査結果やコメントが何もかかれていないが、村の貴重な財産である豊かな自然は守れるのだろうか。</p> <p>日本野鳥の会京都支部の独自調査結果によると、メガソーラー予定地で4月から7月3日の3ヶ月間に68種類、1297個体の野鳥が記録されている。そしてメガソーラー予定地が「希少種を含む多様な鳥類が生息できる良好な環境であることは間違いありません」とし更に「湿地では京都府の天然記念物である[]や希少種の[]も確認されました」とある。私も生まれて初めて、[]を何度も見ることが出来、大変感動した。そして、[]などの準絶滅危惧種の植物も生息していることが確認できて、この山が宝の山であることを再発見することになった。想像以上に素晴らしい自然の中で暮らしているんだなあと誇りに思う。FS社はこの山について「楡枯れなどで、荒れている」というが、専門家が見ても豊かな自然の残る山なのだ。</p> <p>又、メガソーラー建設予定地の真ん中を通る奥田への道は村民のウォーキングコースで、四季折々の美しい里山の風景に癒されながら楽しみに歩いている。犬を散歩させながら歩く人、夫婦で豊かな時間を共有している人、リハビリで歩く人、友達と一緒に健康づくりで歩く人、考えことをするために歩く人、それぞれに里山の風景に癒されながら歩いている。ここは自然を求めて村に移住してきた私たちにとって、自慢の癒しスポットなのだ。ストレス社会と言われて久しい日本だからこそ、癒しを与えてくれる豊かな自然は私達の心のよりどころであり、安定剤である。最近、ニッポンの原風景である里山を守っていかうという動きは日本中で高まってきているのに、それに逆行する開発は、受け入れられない。</p> <p>・山を削り、保水力の有る森林を伐採すれば、土砂崩れによる自然災害が起きる危険性が増すのではないか。</p> <p>私達の暮らすNTの3.5倍程の面積を使う大規模開発は、普通はゼネコンが手がける開発だと言っていた。FS社は「2年半かけて工事する」と説明していたが、日本各地で自然災害が多発している昨今の状況を考えると、メガソーラーの工事中にも東南地震や集中豪雨に見舞われる可能性さえ考えられる。しかし、60年前に「28年大水害」でたくさんの犠牲者もでてしまった場所である。山を削り、保水力のある森林を伐採し、砂防指定地内でありながら砂子田川を埋め立ててあちこち盛土すれば、土砂崩れによる大災害が起きるんじゃないか、自然からのしっぺ返しを受けるんじゃないかと心配で心配でたまらない。FS社は「開発した方が水害がおきにくい」と説明しているが、私は去年の8月のFS社の説明会で「水を甘くみてはいけない」</p>	<p>本事業では、開発計画及び自主環境影響評価を通じ、自然環境や周辺生活環境へ配慮した取組を行っています。</p> <p>外周部を中心に森林等を確保し開発地と周辺との緩衝帯として、景観、騒音、生物環境等への環境影響の低減に努めています。</p> <p>加えて、開発地内では、在来種の植林や既山林の表土を再利用することで、既存種の再生を図る計画です。</p> <p>予め自主環境影響評価をおこない、できる限り環境への負荷が低減できるような事業計画に努めております。</p> <p>自主環境影響評価では、京都府の技術指針に準じつつ、更に本事業特有の環境影響評価項目を追加することで、より地域の実情に即した環境影響評価としています。</p> <p>実施にあたっては、専門家や京都府の指導を仰ぎながら、景観や騒音等、周辺への影響を調査、予測・評価し必要な対策を検討してきました。また、四季を通じた生物調査をおこない、重要な動植物等の保全措置を行う予定です。</p> <p>事業説明会等では、自主環境影響評価（中間報告）を元に、その評価結果を説明してきました。最終報告書は、京都府のご確認を頂いた後に、南山城村役場で閲覧できるようにする予定です。</p> <p>当該区域は砂防指定地ですので、砂防法等の関係法令に従って土砂崩れ対策を施します。</p> <p>とりわけ砂子田川を埋設する箇所においては、住宅団地と同等以上の防災対策を施します。具体的には、谷底堆積物の地盤改良、地下暗渠の敷設・斜面段切工・高さ5mのふとん籠堰堤・高さ30cm単位での盛土転圧・レベル2地震動に対応した擁壁・安定勾配での法面整形・法面排水工・法面小段・防災小堤・法面植生といったものです。これらの技術は、「宅地防災マニュアル」に則ったものです。「宅地防災マニュアル」は、長年の宅地造成の技術と経験が蓄積されてまとめられたものです。私どもは本書に基づいた適切な施工を行います。</p>

と発言された方の言葉がずっと頭から離れない。その言葉の方がずっと信憑性がある。更に、今年の4月にオープンする道の駅は開発地域のすぐ下流にある。そこにはこれからたくさんの人が集まるだろうが、その場所も本当に安全だと言えるだろうか。

F S社は「固定資産税が村に入るから地域貢献できる」と説明しているが、一度大きな災害が起きたら、取り返しのつかない代償を払わされ、復興に莫大な費用がかかって、その税収どころではなくなることは、日本各地の災害を見て皆もよく学んでいることだ。安全神話の原発にしろ、広島で起きた土砂崩れによる住宅地の崩壊にしろ、国や県が許可を下して行った事業や開発であるにもかかわらず、たくさん犠牲者を出し、人々が当たり前の生活を奪われてしまった。自然を甘く見て「安全性」を二の次にした開発の結果である。しかも、一度自然災害に見舞われたら復興に長い長い年月がかかる。結局人間は自然の力には勝てないのだと思う。だからこそ、私たちは自然を簡単に破壊するようなことをしてはいけないと思う。山を削り森林を伐採するなどもってのほかだ。私たちは大きなリスクを覚悟しなければならないような開発は受け入れることができない。

ご指摘のとおり、福島原発事故は、甚大な被害をもたらし、その代償は計り知れません。そして、各所では原子力発電所の再稼動がすすんでいます。

わたしたちの暮らしには、多くのエネルギーが必要です。日本では、福島原発事故を契機に、多くの人々がエネルギーについて関心を持ち、考え、行動する機会を得ました。私どもは、太陽光発電を通じて、社会へ貢献します。

私どもは、安全性を二の次にするつもりはありません。

防災に関する技術的な安全性については、砂防法は山城南土木事務所、森林法は山城広域振興局森づくり推進室、河川法（河川協議）は南山城村と協議を行い、それぞれの審査基準に基づき審査していただく予定です。また、技術力・実績のある大手建設会社が万全の体制で工事にあたります。

意見書の写しに記載された意見の概要	左記意見に対する見解
<p>・将来のある子供達（孫達）に私たちは無責任な決断はできない。自然のいいところを業者の方は知らないのです。 パネルはいらない、工事いらない、村の宝である木がなくなるといふ事は二酸化炭素をどれ位吸って酸素をどれ位出しているのか教えてください。 72ha なんて広大な面積の山を削り、まして学校、福祉施設、道の駅、住宅のそば、よりによって、そんな所に広大なメガソーラー建設をするのですか？将来、産業廃棄物の捨て場になる様な気がしてなりません絶対反対です。</p>	<p>私どもは、太陽光発電によりクリーンで安全な再生可能エネルギーをつくりだし、日本における太陽光発電の普及・拡大を推進し、エネルギー、環境、地域への貢献を目指しています。 本太陽光発電所は、山林の開発を伴いますが、日本のエネルギー政策を推進し、環境、地域へ貢献すると信じています。</p> <p>本太陽光発電所は、化石燃料に頼ることなく、運転中は二酸化炭素を排出せず、無駄な廃棄物の生成もなく、20年以上にわたりクリーンなエネルギーを提供します。そのエネルギーは一般家庭約 10,000 世帯に相当し、二酸化炭素の排出量削減量は、一般家庭約 8,000 世帯に相当します。</p> <p>このプロジェクトから生まれる税収は、長期間の安定的な地方財源となり行政サービスを介し地域へ還元されます。（現在、南山城村村民税約 1.2 億円に対し、本発電所は 1 億円程度（初年度）の納税となる見込みであり、納税に対し、地方交付税交付金が調整され実質約 25%が増収となる見込みです。）太陽光発電所として、放置され荒廃しつつある山林や河川を整備することは、周辺生活者の災害等の危険や日常的な弊害・負担を軽減します。そして、太陽光発電所の建設中、又、完成した発電所の運営維持管理では、地域の雇用機会を創出し、祭事等地域活動への協力等により地域の活性化へ貢献します。</p> <p>樹木の伐採による二酸化炭素吸収量の減少量は、年間約 3,500 トンと予測しています。これは、本事業の実施（太陽光発電システムの導入）による二酸化炭素発生量の削減量（年間約 26,600 トンと推定）の 7.6 分の 1 程度であり、樹木の伐採による二酸化炭素吸収量の減少量よりも、本事業の実施による二酸化炭素発生量の削減量の方がはるかに大きいと予測しています。</p> <p>さらに、本事業では、以下の環境保全措置を実施することにより、温室効果ガス等の吸収量の減少による影響をできる限り軽減する計画としています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り改変区域を縮小し、事業実施区域外周等に森林を残置する。 ・造成森林においては、樹木を 2,000 本/ha の密度で植栽する。 <p>なお、詳細につきましては、自主環境影響評価の最終報告書に記載しております。</p> <p>酸素の排出量については、樹木は吸収した二酸化炭素のうち炭素だけを体内に取り込み、酸素を放出するという活動を行うため、二酸化炭素吸収量に 32/44（酸素と二酸化炭素の分子量の比）を乗じることによって算出されます。 その結果、年間約 2,550 トンとなります。</p>

意見書の写しに記載された意見の概要	左記意見に対する見解
<p>・植物のある中にいると、みどりで脳をリラックスできる。脳が活性化する。ヒノキは脳の疲れを和らげる力があるとテレビでコメントしていました。ニュータウンでは60才以上の方が40%を占めています。健康のために私たちは、この豊かな自然の中で毎日ウォーキングを楽しんでいるかご存知でしょうか。こんな素敵な村のウォーキングコースを奪わないでください。</p>	<p>私どもは、太陽光発電によりクリーンで安全な再生可能エネルギーをつくりだし、日本における太陽光発電の普及・拡大を推進し、エネルギー、環境、地域への貢献を目指しています。</p> <p>本太陽光発電所は、山林の開発を伴いますが、日本のエネルギー政策を推進し、環境、地域へ貢献すると信じています。</p> <p>本太陽光発電所は、化石燃料に頼ることなく、運転中は二酸化炭素を排出せず、無駄な廃棄物の生成もなく、20年以上にわたりクリーンなエネルギーを提供します。そのエネルギーは一般家庭約10,000世帯に相当し、二酸化炭素の排出量削減量は、一般家庭約8,000世帯に相当します。</p> <p>このプロジェクトから生まれる税収は、長期間の安定的な地方財源となり行政サービスを介し地域へ還元されます。（現在、南山城村村民税約1.2億円に対し、本発電所は1億円程度（初年度）の納税となる見込みであり、納税に対し、地方交付税交付金が調整され実質約25%が増収となる見込みです。）太陽光発電所として、放置され荒廃しつつある山林や河川を整備することは、周辺生活者の災害等の危険や日常的な弊害・負担を軽減します。そして、太陽光発電所の建設中、又、完成した発電所の運営維持管理では、地域の雇用機会を創出し、祭事等地域活動への協力等により地域の活性化へ貢献します。</p> <p>私どもは、事業活動を行う地域社会への取り組みとして、開発の初期段階より近隣地区と数多くの会合や説明会等をおこなってきました。そして、地域の懸念を調整し、開発計画の見直し防災機能の更なる向上を図り、自主環境影響評価の実施により、周辺生活や環境への影響を評価し、影響の低減を図り事業を進めてきました。</p> <p>これらの取組を通じて、今山・奥田・押原地区より本事業にご理解いただき、協定を交わしています。その上で、広く南山城村村民に対し事業説明会等を開催し、より多くの方のご理解を得るべくすすめてきました。今後、南山城村とも協定を交わすことを考えており、広く村民にご安心いただけるようにしたいと考えています。</p>

意見書の写しに記載された意見の概要	左記意見に対する見解
<p>・ F S J P 6 社の信頼性について</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 資本金が1円であること。(その後に1000万円に増資) ② 会社役員が次々と交代していること ③ 反社会的人物と関わってきたこと ④ 事業説明会での資料が充分準備されていなかったこと <p>など、説明会に臨む姿勢が伝わってこなかった。企業倫理を示してください。</p> <p>この場所でメガソーラー建設おかしいですよ。 近くには、保育園、小学校、福祉施設、中学校、ニュータウン（全戸数約314戸くらい）があるのです。</p>	<p>ファーストソーラーは、1999年米国で太陽光パネルメーカーとして誕生しました。太陽光パネルの製造・販売、太陽光発電事業のプロバイダー（太陽光発電所の開発、設計、建設、パネル販売、運営保守等のサービスを提供）として成長し、世界のトップシェアを有しています。その実績は、世界30カ国以上、11,000件を超えるプロジェクトに、13.5GWを超える太陽光パネルを設置しています。</p> <p>平成25年、ファーストソーラー・ジャパンを設立し東京オフィスを開設しました。国内では既に8ヶ所の太陽光発電所をつくり、現在、多くのプロジェクトを手がけています。その一例として石川県で、北陸地方最大規模となる太陽光発電所（約60MW）が、プロジェクト融資にて約270億円の事業資金を調達し、建設がすすめられています。</p> <p>本事業をおこなうためFS Japan Project 6 合同会社を設立し、事業をすすめています。</p> <p>私どもは、資本金のみが事業の健全性の指標であるとは考えていません。開発段階の資金は、ファーストソーラー等より調達することから、資本金に頼る必要はありません。よって、資本金1円にて設立しました。地元説明会等で、1円というものに不安視されるご意見があり、少しでも不安を払拭したいと考え増資しています。建設段階では、多額の資金が必要となります。そのときは、ファーストソーラー及び金融機関より調達します。</p> <p>反社会勢力との関係は排除しています。</p> <p>私どもは、事業活動を行う地域社会への取り組みとして、開発の初期段階より近隣地区と数多くの会合や説明会等をおこなってきました。そして、地域の懸念を調整し、開発計画の見直し防災機能の更なる向上を図り、自主環境影響評価の実施により、周辺生活や環境への影響を評価し、影響の低減を図り事業を進めてきました。</p> <p>これらの取組を通じて、今山・奥田・押原地区より本事業にご理解いただき、協定を交わしています。その上で、広く南山城村村民に対し事業説明会等を開催し、より多くの方のご理解を得るべくすすめてきました。今後、南山城村とも協定を交わすことを考えており、広く村民にご安心いただけるように考えています。</p> <p>計画地と小学校等とは、山や谷を挟みつつ、概ね300mという位置関係にあります。月ヶ瀬ニュータウンとは、山、国道を挟み、概ね300mの位置関係にあります。</p> <p>同様の事例として、近郊の伊賀市では、ニュータウン内に15MWの大規模太陽光発電所があり、周囲には、住宅地、小学校、保育園、高齢者施設等があります。</p>

そんな近隣で森林伐採してまで、メガソーラー建設をやろうとしています。こんな状況の中で恐ろしい程の広大過ぎるこの計画は日本中どこを探しても無いのではないのでしょうか。

また、住宅、商業施設、健康・福祉・教育施設等、コミュニティーソーラー等が整備され、約 1000 世帯の住宅には太陽光パネルが設置され、持続可能なエネルギーの取組を行っているニュータウンもあり、政府より高い評価を得ています。

全国多くの自治体が、小学校等公共施設の屋根を太陽光発電事業者に貸し出し、屋上や屋根で太陽光発電が行われ、環境へ貢献が図られると共に、エネルギーに関する環境教育が進んでいます。

本計画は、景観や騒音等、自主環境影響評価で検証の結果、南山城小学校等へ著しい影響を及ぼすものではありません。

南山城小学校との協議では、交通安全に十分配慮し、通学時間やスクールバスの運行ルート等に配慮し、工事着手前に十分に調整することとしています。工事中の交通安全、騒音・粉塵対策等、適切に実施します。

ファースト・ソーラーの薄膜太陽光発電技術は、安全で高い信頼性の性能実績があります。破損、火災、洪水、雹（ひょう）時の安全性について試験を行っており、ISO、IEC、TÜV、米国 VDE、UL 及び JET を含む世界中の第三者試験機関によってその安全性と品質基準が認定されています。

（東京大学、横浜国立大学を含む）主要な国際機関の研究者 40 人以上によって、通常の使用、予見可能な事故時、耐用年数を経た後のリサイクルと廃棄の段階において、人間の健康や環境に対して安全であることが確認されています。

また、世界中で使用が認められており、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、米国、カナダ、オーストラリア、タイ、及び他の多くの国で設置されています。世界 30 ヶ国以上、11,000 件以上のプロジェクトに対し、13,500MW の設置実績があります。仮に埋立処分を行った場合においても、環境基準上問題がないことが確認されています。

本造成計画は、砂防法及び林地開発許可等の技術基準に基づくと共に、更に宅地造成マニュアルを準用し設計しており、各法・許認可が求める技術基準に基づいて設計しています。

特に西工区の谷盛土部分は、技術水準以上の地下防災設備を設置することで、更なる防災上の安定性を追及しています。具体的には、布団籠堰堤の設置数や暗渠管の排水能力、仮設沈砂池の容量において技術水準以上のものを設置しています。擁壁等は、構造計算や地盤調査に基づき必要に応じて地盤改良工法等を用い、構造物の安定化を図ります。

防災に関する技術的な安全性については、砂防法は山城南土木事務所、森林法は山城広域振興局森づくり推進室、河川法（河川協議）は南山城村と協議を行い、それぞれの審査基準に基づき審査していただく予定です。また、技術力・実績のある大手建設会社が万全の体制で工事にあたります。

・パネルに含まれるカドテルの問題

・最近の予測不可能な異常気象による災害

・反射光や気温の上昇 等々多くの問題を抱えております。

太陽の方位が東(90°)または西(270°)より南側で、かつ仰角を0°(最も反射光の角度が低くなる)とした場合、北側への反射光は水平より30°の角度となります。

その場合、事業実施区域から500m離れた場所ではパネル高さから約290m以上の高さに反射光が到達することとなり、建物はもちろん、道路も存在しません。また、太陽の方位が東(90°)または西(270°)より北側にある場合は、自主環境影響評価におけるシミュレーションの結果、住宅等への影響はないものと予測しております。

基本的に、使用するソーラーパネルは反射防止加工がされており、また太陽光の一部を電力に変換するため、白い屋根や建物等と比べると反射光(可視光域だけではなく、全周波数帯の光を含みます。)は少なくなります。一般に、太陽光はまず地面を温め、その温められた地面から放射される熱が大気を温めます。その地面から放射される熱は土地の被覆状況の違い(裸地、アスファルト、草地など)によって異なります。本計画においては、森林であった土地が裸地+ソーラーパネルに変わることによる影響が大きいと想定されるため、土地の被覆状況について言及しています。科学的知見が少ないため定量的な予測ができませんが、太陽光をほとんど反射することなく蓄熱して周辺温度を上昇させる駐車場(アスファルト)などと比べると影響は小さいものと考えています。

住民を守るべき村長はF S J P 6 合同会社による住民説明会には出席もせず、あまりにも無責任であります。このメガソーラー建設 絶対反対します。
京都府は許可しないで下さい。お願いします。

行政へのご意見・ご要望と考えますので、事業者としての見解は控えさせていただきます。

意見書の写しに記載された意見の概要	左記意見に対する見解
<p>・村長は、私達のニュータウンのことは、素知らぬ顔です。私達の反対の用紙を持って行っても、見もしないのです。月ヶ瀬NTを助けてください。山を2つも3つも潰し、山全体をメガソーラー発電所を作るという小学校、中学校、幼稚園の周り、目の前につくるという。</p> <p>それに、4日に道の駅がオープンする予定ですが、そこに高いテラスのようなものを作り道の駅に立ち寄るお客さんにその山いっぱいのメガソーラーを見せるために作るそうです。村長が言うには、「客が喜ぶだろう」と言っているそうです。月ヶ瀬NTの住民達のほとんどの人が反対しているのに、村長は見向きもしない。</p> <p>私の意見ですが、ニュータウン、小学校、中学校、幼稚園の前でなく村長の家の前の山にメガソーラーを建設すればいい。こんな村長は南山城村の住民として恥ずかしいと思います。メガソーラー建設に大反対します。</p>	<p>私どもは、太陽光発電によりクリーンで安全な再生可能エネルギーをつくりだし、日本における太陽光発電の普及・拡大を推進し、エネルギー、環境、地域への貢献を目指しています。</p> <p>本太陽光発電所は、山林の開発を伴いますが、日本のエネルギー政策を推進し、環境、地域へ貢献すると信じています。</p> <p>本太陽光発電所は、化石燃料に頼ることなく、運転中は二酸化炭素を排出せず、無駄な廃棄物の生成もなく、20年以上にわたりクリーンなエネルギーを提供します。そのエネルギーは一般家庭約10,000世帯に相当し、二酸化炭素の排出量削減量は、一般家庭約8,000世帯に相当します。</p> <p>このプロジェクトから生まれる税収は、長期間の安定的な地方財源となり行政サービスを介し地域へ還元されます。（現在、南山城村村民税約1.2億円に対し、本発電所は1億円程度（初年度）の納税となる見込みであり、納税に対し、地方交付税交付金が調整され実質約25%が増収となる見込みです。）太陽光発電所として、放置され荒廃しつつある山林や河川を整備することは、周辺生活者の災害等の危険や日常的な弊害・負担を軽減します。そして、太陽光発電所の建設中、又、完成した発電所の運営維持管理では、地域の雇用機会を創出し、祭事等地域活動への協力等により地域の活性化へ貢献します。</p> <p>私どもは、事業活動を行う地域社会への取り組みとして、開発の初期段階より近隣地区と数多くの会合や説明会等をおこなってきました。そして、地域の懸念を調整し、開発計画の見直し防災機能の更なる向上を図り、自主環境影響評価の実施により、周辺生活や環境への影響を評価し、影響の低減を図り事業を進めてきました。</p> <p>これらの取組を通じて、今山・奥田・押原地区より本事業にご理解いただき、協定を交わしています。その上で、広く南山城村村民に対し事業説明会等を開催し、より多くの方のご理解を得るべくすすめてきました。今後、南山城村とも協定を交わすことを考えており、広く村民にご安心いただけるようにしたいと考えています。</p>

意見書の写しに記載された意見の概要	左記意見に対する見解
<p>・メガソーラーパネルが30万枚も敷き詰められる施設がなぜ保育園、小学校、保健センターのすぐ近くに建設されようとしているのでしょうか？ しかも大切な森林をなくしてまで建設しなければならないのでしょうか。 未来の南山城村を背負っていく子供たちがすくすくと育つため、よい環境として建設された保育園であり、学校ですお年寄りが癒されるよう、あの場所に建てられたのです。質問します、なぜ、住民から喜ばれないような建設をすすめられようとしているのでしょうか。</p>	<p>計画地と小学校等とは、山や谷を挟みつつ、概ね300mという位置関係にあります。同様の事例として、近郊の伊賀市では、ニュータウン内に15MWの大規模太陽光発電所があり、周囲には、住宅地、小学校、保育園、高齢者施設等がありますが、問題は生じていません。</p> <p>また、住宅、商業施設、健康・福祉・教育施設等、コミュニティーソーラー等が整備され、約1000世帯の住宅には太陽光パネルが設置され、持続可能なエネルギーの取組を行っているニュータウンもあり、政府より高い評価を得ています。</p> <p>全国多くの自治体が、小学校等公共施設の屋根を太陽光発電事業者に貸し出し、屋上や屋根で太陽光発電が行われ、環境へ貢献が図られると共に、エネルギーに関する環境教育が進んでいます。</p> <p>本計画は、景観や騒音等、自主環境影響評価で検証の結果、南山城小学校等へ著しい影響を及ぼすものではありません。</p> <p>南山城小学校との協議では、交通安全に十分配慮し、通学時間やスクールバスの運行ルート等に配慮し、工事着手前に十分に調整することとしています。工事中の交通安全、騒音・粉塵対策等、適切に実施します。</p> <p>私どもは、太陽光発電によりクリーンで安全な再生可能エネルギーをつくりだし、日本における太陽光発電の普及・拡大を推進し、エネルギー、環境、地域への貢献を目指しています。</p> <p>本太陽光発電所は、山林の開発を伴いますが、日本のエネルギー政策を推進し、環境、地域へ貢献すると信じています。</p>

意見書の写しに記載された意見の概要	左記意見に対する見解
<p>・計画中のメガソーラー事業は、福祉、教育ゾーンから数百メートルしか離れていません。その上、100ha もの自然を壊してまですすめる事業ではありません。自分たちの生活を置き換えてお教えください。これまでに 2000 筆を超える反対署名を京都府に提出しています。これはみんなの願いです。安全だと説明されていますが、私たちはそうは思っておりません。想定される事故と、その対応についてシミュレーションを行ってください。</p>	<p>私どもは、太陽光発電によりクリーンで安全な再生可能エネルギーをつくりだし、日本における太陽光発電の普及・拡大を推進し、エネルギー、環境、地域への貢献を目指しています。</p> <p>本太陽光発電所は、山林の開発を伴いますが、日本のエネルギー政策を推進し、環境、地域へ貢献すると信じています。</p> <p>計画地と小学校等とは、山や谷を挟みつつ、概ね 300m という位置関係にあります。同様の事例として、近郊の伊賀市では、ニュータウン内に 15MW の大規模太陽光発電所があり、周囲には、住宅地、小学校、保育園、高齢者施設等があります。</p> <p>また、住宅、商業施設、健康・福祉・教育施設等、コミュニティーソーラー等が整備され、約 1000 世帯の住宅には太陽光パネルが設置され、持続可能なエネルギーの取組を行っているニュータウンもあり、政府より高い評価を得ています。</p> <p>全国多くの自治体が、小学校等公共施設の屋根を太陽光発電事業者に貸し出し、屋上や屋根で太陽光発電が行われ、環境へ貢献が図られると共に、エネルギーに関する環境教育が進んでいます。</p> <p>本計画は、景観や騒音等、自主環境影響評価で検証の結果、南山城小学校等へ著しい影響を及ぼすものではありません。</p> <p>南山城小学校との協議では、交通安全に十分配慮し、通学時間やスクールバスの運行ルート等に配慮し、工事着手前に十分に調整することとしています。工事中の交通安全、騒音・粉塵対策等、適切に実施します。</p> <p>本造成計画は、砂防法及び林地開発許可等の技術基準に基づくと共に、更に宅地造成マニュアルを準用し設計しており、各法・許認可が求める技術基準に基づいて設計しています。</p> <p>特に西工区の谷盛土部分は、技術水準以上の地下防災設備を設置することで、更なる防災上の安定性を追及しています。具体的には、布団籠堰堤の設置数や暗渠管の排水能力、仮設沈砂池の容量において技術水準以上のものを設置しています。擁壁等は、構造計算や地盤調査に基づき必要に応じて地盤改良工法等を用い、構造物の安定化を図ります。</p> <p>防災に関する技術的な安全性については、砂防法は山城南土木事務所、森林法は山城広域振興局森づくり推進室、河川法（河川協議）は南山城村と協議を行い、それぞれの審査基準に基づき審査していただく予定です。また、技術力・実績のある大手建設会社が万全の体制で工事にあたります。</p> <p>本事業では、建設完了後、ファーストソーラージャパンが運営・保守管理をおこなう予定です。ファーストソーラーは、太陽光発電所の運営・保守管理の豊富な経験を</p>

有しており、現在、世界で約 5,400MW、国内では約 100MW を受託しています。ファーストソーラーは効率的かつ責任のあるかたちで太陽光発電所を運営・維持することが重要だと考えており、太陽光発電所をリアルタイムに監視するために、専門のスタッフチームが東京のオペレーションセンターに駐在しています。また、保守管理をおこなうため、専任の電気主任技術者や保安スタッフチームが現場管理事務所に駐在する予定です。24 時間週 7 日の監視体制に加え、毎月保守点検が実施されます。また、緊急時は、保守サービスチームが 2 時間以内にかけてつける体制を整えます。

経済産業省（所管庁）が、近年の事故事例を分析しその内容を公表しています。経済産業省新エネルギー発電設備事故対応・構造WGによると、事業用太陽光発電設備による重大事故（感電事故や 500kw 以上の設備破壊等）の報告は僅少です。他方、昨今の自然災害に伴い、パネルの飛散、架台倒壊、設備水没等、公衆安全に影響を与える重大事故が発生しています。特に事故報告対象外の小規模設備で倒壊事故が顕在化しています。

追跡調査の結果、工事計画・使用前安全管理検査の対象となった 2MW 以上の設備では、構造強度に起因する重大な損壊は発生していません。そのことから、検査対象外の小規模な発電所が、強度計算を怠る等、専門性や経験の不足する事業者や業者が設置したこと等に起因すると考えられています。

私どもの発電所は、法的に諸官庁の検査対象であり、適切な設計・強度計算等がおこなわれていることが確認されます。

災害、事故等が生じたときは、事態の收拾を図り、必要な措置を講じます。

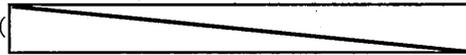
意見書の写しに記載された意見の概要	左記意見に対する見解
<p>・10年余り前に\squareから自然環境の素晴らしい当地に来て自然と共に良い日々を送ってきました。</p> <p>突然、メガソーラーの話聞き、愕然としました。</p> <p>自然破壊はもちろんの事、近くには小学校、保育園等々もあり、子供達や孫達の将来を考えたとき、絶対反対です。又建設しようとしている会社の説明会にも行きましたが、不誠実で全く信頼できません。山を切り崩してまで作らなくても、他の平地は未だ未だあると思います。知事様絶対に許可しないで下さい。</p>	<p>私どもは、太陽光発電によりクリーンで安全な再生可能エネルギーをつくりだし、日本における太陽光発電の普及・拡大を推進し、エネルギー、環境、地域への貢献を目指しています。</p> <p>本太陽光発電所は、山林の開発を伴いますが、日本のエネルギー政策を推進し、環境、地域へ貢献すると信じています。</p> <p>本太陽光発電所は、化石燃料に頼ることなく、運転中は二酸化炭素を排出せず、無駄な廃棄物の生成もなく、20年以上にわたりクリーンなエネルギーを提供します。そのエネルギーは一般家庭約10,000世帯に相当し、二酸化炭素の排出量削減量は、一般家庭約8,000世帯に相当します。</p> <p>このプロジェクトから生まれる税収は、長期間の安定的な地方財源となり行政サービスを介し地域へ還元されます。(現在、南山城村村民税約1.2億円に対し、本発電所は1億円程度(初年度)の納税となる見込みであり、納税に対し、地方交付税交付金が調整され実質約25%が増収となる見込みです。)太陽光発電所として、放置され荒廃しつつある山林や河川を整備することは、周辺生活者の災害等の危険や日常的な弊害・負担を軽減します。そして、太陽光発電所の建設中、又、完成した発電所の運営維持管理では、地域の雇用機会を創出し、祭事等地域活動への協力等により地域の活性化へ貢献します。</p> <p>私どもは、事業活動を行う地域社会への取り組みとして、開発の初期段階より近隣地区と数多くの会合や説明会等をおこなってきました。そして、地域の懸念を調整し、開発計画の見直し防災機能の更なる向上を図り、自主環境影響評価の実施により、周辺生活や環境への影響を評価し、影響の低減を図り事業を進めてきました。</p> <p>これらの取組を通じて、今山・奥田・押原地区より本事業にご理解いただき、協定を交わしています。その上で、広く南山城村村民に対し事業説明会等を開催し、より多くの方のご理解を得るべくすすめてきました。今後、南山城村とも協定を交わすことを考えており、広く村民にご安心いただけるようにと考えています。</p> <p>計画地と小学校等とは、山や谷を挟みつつ、概ね300mという位置関係にあります。同様の事例として、近郊の伊賀市では、ニュータウン内に15MWの大規模太陽光発電所があり、周囲には、住宅地、小学校、保育園、高齢者施設等があります。</p> <p>また、住宅、商業施設、健康・福祉・教育施設等、コミュニティーソーラー等が整備され、約1000世帯の住宅には太陽光パネルが設置され、持続可能なエネルギーの取組を行っているニュータウンもあり、政府より高い評価を得ています。</p> <p>全国多くの自治体が、小学校等公共施設の屋根を太陽光発電事業者に貸し出し、屋上や屋根で太陽光発電が行われ、環境へ貢献が図られると共に、エネルギーに関する環境教育が進んでいます。</p>

本計画は、景観や騒音等、自主環境影響評価で検証の結果、南山城小学校等へ著しい影響を及ぼすものではありません。

南山城小学校との協議では、交通安全に十分配慮し、通学時間やスクールバスの運行ルート等に配慮し、工事着手前に十分に調整することとしています。工事中の交通安全、騒音・粉塵対策等、適切に実施します。

意見書の写しに記載された意見の概要	左記意見に対する見解
<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発面積が余りにも広大である。 ・ 美しい景観が壊される。 ・ 気象に影響がでる（気温上昇、竜巻、反射光） 	<p>私どもは、太陽光発電によりクリーンで安全な再生可能エネルギーをつくりだし、日本における太陽光発電の普及・拡大を推進し、エネルギー、環境、地域への貢献を目指しています。</p> <p>本太陽光発電所は、山林の開発を伴いますが、日本のエネルギー政策を推進し、環境、地域へ貢献すると信じています。</p> <p>景観への配慮として、計画地外周部に残置・造成森林を配置し、外周部から太陽光パネルが直接視認されることを極力低減する計画としています。</p> <p>特に国道 163 号線南部に存する月ヶ瀬ニュータウンからの景観に配慮するため、開発区域を変更し、西工区を北側へ大きくセットバックし、且つ、国道 163 号線からの進入路を取りやめることで月ヶ瀬ニュータウンの正面の山を残すことが可能となり、月ヶ瀬ニュータウンからの景観への影響が一層低減しています。また計画地盤高や造成森林位置を調整し、周囲からの景観への影響の低減を図っています。そして、造成森林においては、植樹を工夫することで魅力ある景観の創出を図っています。</p> <p>開発後の景観は、フォトモンタージュを作成し、周辺生活環境に著しい影響を与えていないことを確認しています。また、説明会では住民の方より、私どもの資料以上に視認できる場所があるとのことがあり、住民の方々と一緒に追加調査をおこないました。南山城小学校グラウンドや月ヶ瀬ニュータウンの高所等のフォトモンタージュにおいても、やはり周辺生活環境に著しい影響を与えていないことを確認しています。</p> <p>詳細につきましては、自主環境影響評価の最終報告書に記載しております。</p> <p>基本的に、使用するソーラーパネルは反射防止加工がされており、また太陽光の一部を電力に変換するため、白い屋根や建物等と比べると反射光（可視光域だけではなく、全周波数帯の光を含みます。）は少なくなります。一般に、太陽光はまず地面を温め、その温められた地面から放射される熱が大気を温めます。その地面から放射される熱は土地の被覆状況の違い（裸地、アスファルト、草地など）によって異なります。本計画においては、森林であった土地が裸地+ソーラーパネルに変わることによる影響が大きいと想定されるため、土地の被覆状況について言及しています。科学的知見が少ないため定量的な予測ができませんが、太陽光をほとんど反射することなく蓄熱して周辺温度を上昇させる駐車場（アスファルト）などと比べると影響は小さいものと考えています。</p> <p>太陽光によって温められた地面から放射される熱によって温められた空気は、上昇します。そのため、ソーラーパネルによって温められた空気も上昇し、上昇気流が発</p>

・森林伐採で希少な生物が絶滅する（など）



・砂子田川が埋め立てられ、迂回させられる。
・森林伐採でゲリラ豪雨の場合、大洪水や濁水の発生、土砂崩れ等の多発が懸念される。

生するものと思われませんが、住宅団地や大規模駐車場と同程度と考えられ、竜巻やゲリラ豪雨の直接的な原因にはなりにくいものと考えています。

太陽の方位が東（90°）または西（270°）より南側で、かつ仰角を0°（最も反射光の角度が低くなる）とした場合、北側への反射光は水平より30°の角度となります。

その場合、事業実施区域から500m離れた場所ではパネル高さから約290m以上の高さに反射光が到達することとなり、建物はもちろん、道路も存在しません。また、太陽の方位が東（90°）または西（270°）より北側にある場合は、自主環境影響評価におけるシミュレーションの結果、住宅等への影響はないものと予測しております。

事業計画地及びその周辺に生息・生育する重要種については、移植等の環境保全措置を実施することにより可能な限り影響を低減する計画としているため、影響は小さい、あるいは種としての生存は可能であると考えております。

ご指摘の種につきましては、私どもの調査では事業計画地及びその周辺での生息・生育は確認できなかった、あるいは生息・生育地は事業計画地外であり、事業による影響はないものと考えています。

洪水対策として調整池を整備します。事業地から出る雨水は一旦調整池で貯留し放流します。これにより従来の山林の持つ洪水緩和の機能を果たします。

本工事によって、山林を伐採することは事実ですが、それに見合う以上の非常に大きな調整池を設置しますので、結果的には、元の山林の状態よりはピーク時雨水量は減少します。従いまして、洪水リスクとしては現況よりも安全側に働きます。昨今の異常気象の頻出により全国的に水害リスクは上昇しつつあります。そのような状況下において、本件が整備されれば洪水リスクは安全側に働きます。

ただし、雨水量が抑制されるのは当該開発地内から出る分のみです。開発地外から出る分は従前のままですので、治水上のリスクが解消された訳ではないのでご注意ください。

濁水対策は、以下を計画しています。

工事中は、仮設沈砂池を谷底に設けます。砂防技術基準における必要量の基準値は500m³/haですが、これを上回る容量の沈砂池を計画しています。

供用中は、調整池で沈殿されます。砂防技術基準における必要量の基準値は150m³/ha/年ですが、これを上回る容量の沈砂池を計画しています。土砂は定期的に除去します。また、砂子田川下流端において沈砂池を設置します。

当該区域は砂防指定地ですので、砂防法等の関係法令に従って土砂崩れ対策を施します。

<p>・調整池が13個建設されるが豪雨に対応できるか不明。</p> <p>・変電所建設で騒音や電磁波公害が心配。</p> <p>・三重県の建設計画が明らかでない。</p>	<p>とりわけ砂子田川を埋設する箇所においては、住宅団地と同等以上の防災対策を施します。具体的には、谷底堆積物の地盤改良、地下暗渠の敷設・斜面段切工・高さ5mのふとん籠堰堤・高さ30cm単位での盛土転圧・レベル2地震動に対応した擁壁・安定勾配での法面整形・法面排水工・法面小段・防災小堤・法面植生といったものです。これらの技術は、「宅地防災マニュアル」に則ったものです。「宅地防災マニュアル」は、長年の宅地造成の技術と経験が蓄積されてまとめられたものです。私も本書に基づいた適切な施工を行います。</p> <p>防災に関する技術的な安全性については、砂防法は山城南土木事務所、森林法は山城広域振興局森づくり推進室、河川法（河川協議）は南山城村と協議を行い、それぞれの審査基準に基づき審査していただく予定です。また、技術力・実績のある大手建設会社が万全の体制で工事にあたります。</p> <p>調整池は、各種基準に基づいて設計しています。</p> <p>発電設備から発生する騒音レベルを予測した結果、事業計画地敷地境界上での騒音レベルの最大値は49dBであり、寝室や住宅街相当の騒音レベルと予測しています。したがって、事業計画地周辺への騒音による影響はほとんどないものと想定しています。</p> <p>パワーコンディショナーから発生する交流磁界は、出力に依存し、電流が大きくなれば交流磁界の大きさも大きくなります。そこで、本事業で設置予定のパワーコンディショナーと同等クラスのパワーコンディショナーを設置している類似施設（665kW×2台）における交流磁界の実測を行いました。その結果、最大実測値は60.59μT（0.2m距離）であり、そこから約35m離れた発電所敷地境界では0.732μT（最大実測値）と大きく減衰していました。この数値は、南山城小学校の周辺における0.810μT（最大実測値）と同等レベルであることから、パワーコンディショナーから発生する磁界は、距離が離れると大きく減衰し、30m程度離れた場所ではその影響がほとんどなくなるものと推測されます。</p> <p>さらに、本事業では、事業計画地周辺の既存の山地に加え、事業計画地の外周部に残置森林や造成森林、管理用道路等を配置する計画としており、太陽光発電システムと事業計画地周辺の住居等とは数十m～数百m程度の離隔を設ける計画としています。したがって、事業計画地周辺に電磁界による影響を及ぼすおそれはないものと考えています。</p> <p>なお、詳細につきましては、自主環境影響評価の最終報告書に記載しております。</p> <p>三重サイトの配置計画は説明会資料のとおりです。各種調査等もすすめています。今後、伊賀市にて地元説明会等を開催する予定です。</p>
---	---

<ul style="list-style-type: none"> ・送電は高圧鉄塔ではなく地下埋設というが可能か疑問 ・「自然を大切に」と進めている小中学校での環境教育と裏腹に自然破壊が進められ、児童・生徒への教育上の影響が懸念される。 ・F S社製の太陽光パネルにはイタイイタイ病の原因となったカドミウムという金属の化合物（C d T e =有害）が含まれ、台風などで壊れた場合の漏出、飛散が心配。 ・もしも会社が倒産したり売却されるようなことがあった場合、パネルの管理はどうなるのか疑問。 ・事業終了後や倒産した場合、パネルが産廃として放置される事態が生じないのか心配。 	<p>送電ルートは、以下を計画し、協議をすすめています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都サイト（西工区）～（東工区）：本計画で拡幅する道へ地中敷設（22KV） ・京都サイト（東工区）～三重サイト：中谷川を架空線（22KV）で横断 ・三重サイト～変電所（伊賀市大野木）：国道 163 号線へ地中埋設（22KV）、中部電力鉄塔へ接続 <p>今回、拡幅道路への埋設を懸念する、ご意見もありましたので、東工区と西工区間は、最短ルートを架空線に対応する等、他のルートの可能性も検討します。</p> <p>わたしたちの暮らしには、多くのエネルギーが必要です。日本では、福島原発事故を契機に、多くの人々がエネルギーについて関心を持ち、考え、行動する機会を得ました。それは、教育の現場にも活かされ、エネルギーという観点での環境教育がすすめられています。</p> <p>私どもは、環境への影響の低減を図りながら、太陽光発電所を整備することを通じて、社会へ貢献すると考えています。一方、開発してまで太陽光発電所を建設すべきではない、環境教育に悪いとのご意見もあります。日々、地球規模で環境問題は深刻化しており、何らかの方法でエネルギーが抱える問題を解決をする必要があります。</p> <p>南山城小学校の教育という視点では、地球環境とエネルギー、自然と経済活動、地方の現状と暮らし、将来等、様々な視点、自由な発想で、当計画を一例として考えていただければと思います。考えることは、行動の第一歩です。子どもたちに、すばらしい未来を残したいというお気持ちは皆一緒だと思います。</p> <p>ファースト・ソーラーの薄膜太陽光発電技術は、安全で高い信頼性の性能実績があります。破損、火災、洪水、雹（ひょう）時の安全性について試験を行っており、ISO、IEC、TÜV、米国 VDE、UL 及び JET を含む世界中の第三者試験機関によってその安全性と品質基準が認定されています。</p> <p>（東京大学、横浜国立大学を含む）主要な国際機関の研究者 40 人以上によって、通常の使用、予見可能な事故時、耐用年数を経た後のリサイクルと廃棄の段階において、人間の健康や環境に対して安全であることが確認されています。</p> <p>また、世界中で使用が認められており、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、米国、カナダ、オーストラリア、タイ、及び他の多くの国で設置されています。世界 30 ヶ国以上、11,000 件以上のプロジェクトに対し、13,500MW の設置実績があります。仮に埋立処分を行った場合においても、環境基準上問題がないことが確認されています。</p> <p>私どもは、中部電力と、20 年間、固定額で電力を販売する契約を締結しています。よって、20 年間の安定的な売上・収入が見込まれており、健全な事業計画となります。また、自然災害等不測に事態には、保険でカバーしますので、容易に倒産が生じることはありません。</p> <p>事業者は、地権者に対し撤去義務を有しています。また、敷金等により保全措置が図られています。</p>
--	--

今、建設されようとしているメガソーラー発電所の建設には左記しているような問題がかなり多く、自然を壊してまでも建設する必要性が問われる問題であると思います。左記していることは、ほんの一部です。私達の安全な生活を守るのが府の勤めであると思います。安心・安全な生活があつてこそ、この村で生活する住民の願いであることをもっと考えていただきたい。

行政へのご意見・ご要望と考えるので、事業者としての見解は控えさせていただきます。

意見書の写しに記載された意見の概要	左記意見に対する見解
<p>・この村で生まれ、この村で生活するにあたり、メガソーラー問題が出たときは、反対です。この自然の中で仕事しているので、山を伐採してまで作らなければならないのか。色々な昆虫、鳥、動物らのすむ所（場所）を奪ってしまうのか。会社の方々も自分家を奪われたりしたら良いですか。</p> <p>自然を壊してまで、作らなければならないのか、どうしてこの地域に、こだわるのか。近くには学校、保育園もあり、子供達には良くない。自分たちのふるさとの自然を守りたいと思うことは、誰でも同じと思う。この大自然を守るのが府の勤めではないでしょうか。</p>	<p>私どもは、太陽光発電によりクリーンで安全な再生可能エネルギーをつくりだし、日本における太陽光発電の普及・拡大を推進し、エネルギー、環境、地域への貢献を目指しています。</p> <p>本太陽光発電所は、山林の開発を伴いますが、日本のエネルギー政策を推進し、環境、地域へ貢献すると信じています。</p> <p>本太陽光発電所は、化石燃料に頼ることなく、運転中は二酸化炭素を排出せず、無駄な廃棄物の生成もなく、20年以上にわたりクリーンなエネルギーを提供します。そのエネルギーは一般家庭約10,000世帯に相当し、二酸化炭素の排出量削減量は、一般家庭約8,000世帯に相当します。</p> <p>このプロジェクトから生まれる税収は、長期間の安定的な地方財源となり行政サービスを介し地域へ還元されます。（現在、南山城村村民税約1.2億円に対し、本発電所は1億円程度（初年度）の納税となる見込みであり、納税に対し、地方交付税交付金が調整され実質約25%が増収となる見込みです。）太陽光発電所として、放置され荒廃しつつある山林や河川を整備することは、周辺生活者の災害等の危険や日常的な弊害・負担を軽減します。そして、太陽光発電所の建設中、又、完成した発電所の運営維持管理では、地域の雇用機会を創出し、祭事等地域活動への協力等により地域の活性化へ貢献します。</p> <p>私どもは、事業活動を行う地域社会への取り組みとして、開発の初期段階より近隣地区と数多くの会合や説明会等をおこなってきました。そして、地域の懸念を調整し、開発計画の見直し防災機能の更なる向上を図り、自主環境影響評価の実施により、周辺生活や環境への影響を評価し、影響の低減を図り事業を進めてきました。</p> <p>これらの取組を通じて、今山・奥田・押原地区より本事業にご理解いただき、協定を交わしています。その上で、広く南山城村村民に対し事業説明会等を開催し、より多くの方のご理解を得るべくすすめてきました。今後、南山城村とも協定を交わすことを考えており、広く村民にご安心いただけるようにしたいと考えています。</p> <p>事業計画地及びその周辺に生息・生育する重要種については、移植等の環境保全措置を実施することにより可能な限り影響を低減する計画としているため、著しい影響はないものと考えております。</p> <p>計画地と小学校等とは、山や谷を挟みつつ、概ね300mという位置関係にあります。同様の事例として、近郊の伊賀市では、ニュータウン内に15MWの大規模太陽光発電所があり、周囲には、住宅地、小学校、保育園、高齢者施設等があります。</p>

また、住宅、商業施設、健康・福祉・教育施設等、コミュニティーソーラー等が整備され、約 1000 世帯の住宅には太陽光パネルが設置され、持続可能なエネルギーの取組を行っているニュータウンもあり、政府より高い評価を得ています。

全国多くの自治体が、小学校等公共施設の屋根を太陽光発電事業者に貸し出し、屋上や屋根で太陽光発電が行われ、環境へ貢献が図られると共に、エネルギーに関する環境教育が進んでいます。

本計画は、景観や騒音等、自主環境影響評価で検証の結果、南山城小学校等へ著しい影響を及ぼすものではありません。

南山城小学校との協議では、交通安全に十分配慮し、通学時間やスクールバスの運行ルート等に配慮し、工事着手前に十分に調整することとしています。工事中の交通安全、騒音・粉塵対策等、適切に実施します。